

事務事業名 子ども会リーダースクール事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：668

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-19-00
基本事業：	03	青少年の指導者育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	青少年の指導者・子どもリーダー数 生涯学習ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるもの の人数）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内の小学4・5年生（次年度の子ども会役員）			子ども会リーダーの基礎知識として、以下の内容の研修、グループワークなどを行う。 ・子ども会、育成会とは ・子ども会リーダーとその役割とは ・子ども会活動の意義 ・仲間づくりのためのレクリエーション ・子ども会行事の企画立案方法						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
子ども会加入者数		人	3,261	3,163	3,300	3,300			3,500
スクール参加者数		人	35	42	250	250			
5. コスト									
事業費		計	千円	11	10	71	71		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	803	792	773				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	814	802	844	71			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により集合開催を取りやめ、50単位子ども会に資料を配布した。50単位子ども会中、9単位子ども会42人が受講したとの報告があった。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	現在、市子連を退会または活動を休会している子ども会への働きかけについて、市子連と検討している。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
行事参加が少なくなりがちであるが、リーダースクール事業の目的である「子どもが主体となる子ども会活動」を推し進めるため、市子連加入・未加入に関わらない、参加案内を検討していく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を目的として開始。市子連に加入する子ども会数が減少してきているが、その中でもリーダースクール事業への参加希望者は増加している。					地域によって「子ども会活動」への意識の違いが出てきている。				